



第12号

# 岡津の翼

令和5年3月24日

横浜市立岡津中学校

校長 相澤 順

同校 学校だより担当

## 成長を実感するとき

3月8日、卒業証書授与式で、215名の卒業生が、本校を巣立っていきました。卒業証書を受け取る姿は、礼儀正しく、しっかりと目を合わせるなど、どの卒業生からも清々しさが感じとれました。これから先、未来を自分の力で歩もうとするたくましさも表れていました。中学校3年間での大きな成長を実感する瞬間でした。

1、2年生は卒業式予行練習や三送会(3年生を送る会)の中で卒業生に感謝の気持ちを表そうと、こちらも立派な態度で卒業生を見送りました。3年生が去った校舎には寂しさもありますが、1、2年生は変わらず、きちんとした姿勢で授業に臨み、学年レク(1年生)、百人一首大会(2年生)の学年行事では大いに盛り上がり、メリハリをつけ今年度の学校生活を締めくくりました。卒業式の会場準備や大掃除等の様子を見て、また、最近の部活動の取組や廊下等で交わす挨拶から、1、2年生のよりよい成長も実感しています。まもなく新入生を迎えますが、先輩としてさらなる自覚と責任をもてるように期待します。

保護者、地域、関係者の皆様には、今年度の一年間も温かく生徒たちを見守り、ご支援をいただいたことにご心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



【美化委員会の生徒たちが植えたチューリップが開花しました】



【3/9百人一首大会より(2年)】



【3/17学年レクより(1年)】

## 令和5年度横浜市立学校総合文化祭 開催テーマ 最優秀賞作品

### 「個性を彩る横浜に！みんなでつくろう未来のかたち！」

＜最優秀賞＞ 横浜市立岡津中学校 1年 堀田 紗菜 さん

＜優秀賞＞ 2年 柴田 颯太 さん <優良賞> 2年 藤井 綾音 さん

1年 朝山 佳音 さん、末宗 瑛太 さん、大野 啓汰さん、森 終二 さん

令和5年度、横浜市立学校総合文化祭の「開催テーマ募集」に応募した本校生徒の作品が、総合文化祭実行委員会にて厳正な審査の結果、最優秀賞作品に輝きました。500校を超える、横浜市立小・中・義務教育・高・特別支援学校の代表作品となり、令和5年度の一年間に開催される横浜市立学校総合文化祭のすべてのイベントでテーマとして用いられることとなります。本人はもちろん学校としても大変名誉なことです。また、最優秀賞作品の他、6名の生徒の作品が優秀賞・優良賞に選ばれました。

学校はもとより、横浜市の行事を盛り上げようと、「開催テーマ募集」にトライした35名もの本校生徒の皆さん、ありがとうございました。

## 「1年間を振り返り、未来に向けて」

2学年主任 林 晋央

新型コロナウイルスの世界的な大流行パンデミックが起こって3年が経ちました。これまでの3年間は、“今まで経験したことのない”といった状況が続くままに、先に見えない不安に大変な思いをしてきました。今年度は、世界がウイルスと共に生きる。まさに「ウィズコロナ」へと舵を切り、我々にとって大きく変化のある年になったように感じています。日本でも3年ぶりに行動制限のない年末年始を迎え、すでに「アフターコロナ」を意識できる日常に戻りつつあると感じたりもします。私自身は、以前のような生活ができるという期待感や急変する時代への不安など、正直複雑な思いになっています。皆さんはどうでしょうか。

さて、今年度も残りわずかとなりました。まもなく3年生になる皆さんの最近の様子を見てみると、3年生へのスタートを意識して授業に取り組んでいる人と、少し気を緩めて?! 授業に参加している人がいるように感じます。中学2年生の3学期は、中学3年生の0学期という表現をすることもあります。自分の進路(人生)を決める最も重要な時期の一つです。今一度自分を振り返り「何ができているのか」「何をしないといけないのか」を考え、それを言語化する(できる)ことが重要ではないかと思います。具体的な目標などを言葉にすることで、行動に移すことができるでしょう。

来年度も情熱をもって学び、多様性を尊重し、グローバルな視点を持ち、自分の進路(人生)へ向けて頑張る年にしてください。

## 「1年間を振り返り、その先を見据えて」

1学年主任 五十嵐 真

3/8、3年生が卒業しました。実は、私の息子も中学校を卒業しました。この学年は、新型コロナウイルス感染拡大により、小学校の卒業前に急に休校となった学年です。私は卒業式も参列できず、グラウンドで待機し記念撮影だけをしました。中学校の入学式ももちろん参列はありませんでした。ようやく中学校の卒業式で、初めて参列することができました。息子は呼名されて大きな声で返事をして、卒業証書を授与され、堂々と正面を向いている姿、わずか10秒くらいの出来事でしたが、義務教育9年間の成長を感じることができました。

卒業式の最後、学年主任の先生が保護者に向かって、話をしてくれました。「ずっと担任をやってきて、最初は学年主任が嫌でしたが、今では学年生徒全員の担任をやらせてもらった気持ちで、みなさんの成長を大変うれしく思います。」とのことでした。

私も同じ気持ちで学年主任をしています。赤学年215名、全員の担任のつもりでいます。この1年皆さんが大きく成長して嬉しい気持ちと、まだまだ人に対する優しさが足りない人がいる悲しい気持ち、両方の気持ちがあります。『LOVE & PEACE』世界では、学校に行けない、思うように学習ができない同年代の子どもたちもたくさんいます。今のこの状況を当たり前だと思わず、とにかく優しい気持ちを忘れずに、日々生活してほしいと思います。

保護者のみなさま、この1年いつも温かく見守っていただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。2年後の卒業式、立派に成長した姿をお見せできるように頑張っていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。